

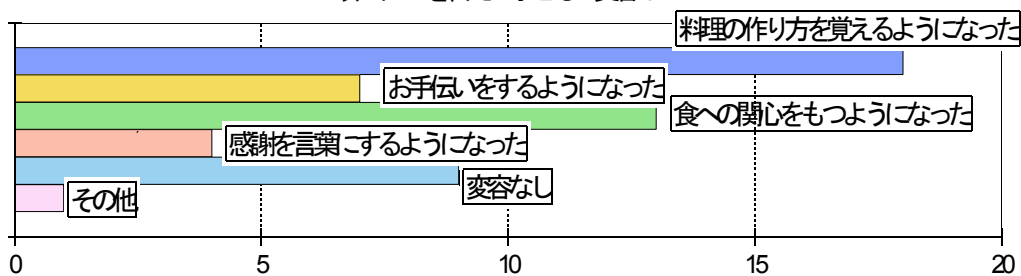
校長室の窓

大変でした VS やってよかった

ー 弁当の日 保護者アンケート編 ー

2月27日(月)の朝、正則小の5年生の家庭では、いつもと違う風景が繰り広げられていました。ある家ではこれまで繰り返し練習してきた卵焼きを楽々と完成し、また、ある家では眠くて不機嫌な子の文句につきあい、ある家ではフライパンの手元をはらはらしながら見守り、ある家では我慢できずに口(手)を出して子どもに叱られている。初めてのことで、しかも朝の忙しい時間に、限られた時間で完成させなければならない。ハードルはかなり高かったようです。5年生の保護者のみなさんは「弁当の日」をどうとらえていただいたのか、アンケート結果をお知らせします。

弁当の日を終えて子どもの変容は？

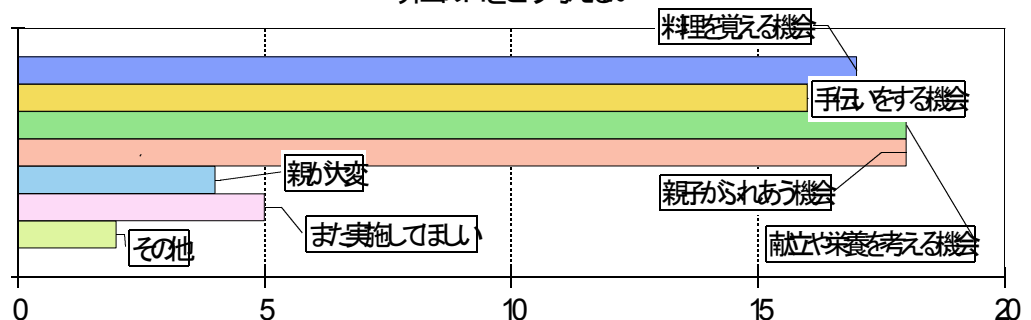


保護者のご意見 (一部)

・ 最初は大変だと思いました。朝に親と子が台所に立ち、いっしょに弁当を作り、朝の忙しい時間を有意義に使うことができたと思います。

- ・ 自分で目覚まし時計を設定していました。うまく作れたときは手をたたいていました。買い物もついてきて、「ママが仕事するとき、この献立ならもう自分で作るよ」と頼もしいことを言うことができました。
- ・ 今まで少しずつお手伝いをしてもらっていましたが、つい危ないと思ってしまい、全部は任せることはできませんでした。でも、今日はがんばって作っている姿を見て、もっと教えようと思いました。

弁当の日をどう考えるか



- ・ 自分で目覚まし時計を設定していました。うまく作れたときは手をたたいていました。買い物もついてきて、「ママが仕事するとき、この献立ならもう自分で作るよ」と頼もしいことを言うことができました。
- ・ 今まで少しずつお手伝いをもらっていましたが、つい危ないと思ってしまい、全部は任せることはできませんでした。でも、今日はがんばって作っている姿を見て、もっと教えようと思いました。
- ・ 朝から大変でしたが、私(母)のお弁当も作ってくれたので、うれしいお昼の時間となりました。お弁当づくりでは上手に包丁を使えるようになったり、お弁当を詰めるときにはいろいろを気にしたりして、成長を感じました。
- ・ 早起きする「お弁当づくり」はとて素晴らしい経験ができたと思う。作ってみての感想は?に対して、「眠い…」だったことは予想外。でも、片付けまで文句一つ言わずやり遂げた姿にとて感動しました。
- ・ “こういうお弁当を作りたい”という目標を持ち、自分で準備して見事完成させることができた。親として、子どもの満足そうな姿、一回り成長した姿が見られてよかった。弁当作りを通して、今までにない達成感を味わったのではないかな。よい経験ができたので、今回限りではなく、ぜひ定期的に実施してほしい。
- ・ 弁当を作る日までに、何度か練習のために卵焼きを作っていました。何回かやるうちに手際もよくなり、段取りも自分で考えるようになりました。保護者としてはつい手を出してしまいそうになるのを我慢しながら、口だけ出してしまい、子どもから「言わないで!!」と言われてしまいました。
- ・ 以前何かで目にしたことがあり、とても楽しみにしていました。しかし、実際にやってみると、正直、当日は時間との戦いで大変でした。1回目は反省ばかりです。複数回できると楽しくなるのではと思いました。
- ・ 今回の取り組みで、母親のやっている家事の大変さを身にしみて感じたようです。これを機に、家族で家事(食事の片付け)を曜日で当番を決めてやるようになりました。

- ・ 当日を迎えるまで何度も練習をした。休日にしかできず家族の予定がそこ中心になり行動が制限された。休日まで母親の負担が増えたように感じた。お弁当までいかなくてもおにぎりからでもよかったのではと思った。子どもは自分の作ったお弁当に満足していたので、結果としてはよかったのかもしれませんが…。今後も続くと思うと少し負担に感じます。
- ・ 働いている親にとっては朝は忙しいです。できれば学校の授業(家庭科)で実習しがてら、弁当箱に詰めてみんなで食べる…でも、十分だと思います。
- ・ 早起きして頑張って弁当づくりをしていました。よくできたと思いますが、献立や栄養バランスについて考えるのに、弁当にしなくても、休日の昼食とかでもできると思います。(自分で作るのが1品でもよいなら)。親としては感謝してほしくて弁当を作っているわけではありません。